

本ニュースリリースは、アドビシステムズ株式会社と株式会社リコーとの共同発表です。
重複して配信される場合がございますが、あらかじめご了承ください。



アドビシステムズ株式会社
株式会社リコー

アドビシステムズとリコー リコー Ridoc Document System と Adobe Acrobat 7.0 の 技術協力と販売促進で協業

— 官公庁、地方自治体、大手企業向けに、高度なセキュリティを確保した
総合的な電子文書活用、管理ソリューションを提供 —

【2005年1月24日】

アドビシステムズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：石井 幹 以下、アドビシステムズ）と株式会社リコー（本社：東京都港区、代表取締役社長：桜井 正光 以下、リコー）は、このたび、Adobe® Acrobat® 7.0 Standard 日本語版とリコーの文書管理システム「Ridoc Document System」の官公庁、地方自治体、大手企業への導入拡大と電子文書法への対応をめざし、技術協力および販売活動において協業することを発表しました。

リコーは現在、ドキュメントのワークフローの改善によるオフィスの生産性向上に向けたドキュメントソリューションを推進しています。特に、電子文書の標準フォーマットの1つであるPDFやPDFコミュニケーションツールのAdobe Acrobatに対するお客様のニーズの拡大にあわせ、PDFの活用をベースにしたご提案をより一層強化しています。一方アドビシステムズは、日本市場における販売チャネルの強化やソリューション提案力の強化を図り、Adobe Acrobat 7.0 Standard 日本語版のより一層の拡販を目指しています。今回の協業は、これら両社のニーズが合致したことによるものです。

本協業に基づき、リコーは、アドビシステムズのAdobe Acrobat 7.0 Standard 日本語版と、リコーの文書管理システム「Ridoc Document System」やデジタル複合機「imaggio Neoシリーズ」、レーザープリンター「IPSiOシリーズ」などの入出力機器を組み合わせたドキュメントソリューションの提供を強化し、特に官公庁、地方自治体、大手企業向けの販売展開を強化していきます。一方アドビシステムズは、リコーが展開する官公庁、地方自治体や大手企業におけるAdobe Acrobat 7.0 日本語版の導入促進にむけた最適なソリューション提供のための技術支援および販売支援を行います。

両社の協業により、Adobe Acrobat と Adobe PDF の高度な機能やセキュリティと、リコーのRidoc Document System との融合を進めることで、お客様のTCO削減やドキュメント・セキュリティ強化、情報共有・活用の推進に向けた高付加価値のソリューション、更には今年4月施行予定の電子文書法への対応に向けたPDFの活用を推進するソリューションを提供していきます。これによりリコーは、2005年度に、Ridoc Document System のポータルソフトであるRidocDesk 2000を10万ライセンス、Adobe Acrobat 7.0 Standard 日本語版を20万ライセンス販売することを目指します。

更に、リコーは、全国のリコー販売会社にAdobe Acrobat ファミリー製品に関して専門的な知識があることを証明する資格「アドビ認定エキスパート (ACE)」の取得を推進し、

2005年度末までにACE取得者を150名まで増やす計画です。これによりリコーは国内最大のACE取得者数を有する企業となります。

また、両社は技術開発面でも協力し、リコーは、Ridoc Document System と Acrobat のシームレスな機能連携による新たな付加価値、より操作性の高い、使い勝手の良い商品を企画・開発し、お客様に提供します。

株式会社リコー、常務取締役上席執行役員の我妻 一紀は「このたびのアドビシステムズとの協業契約の締結により、Adobe Acrobat と Adobe PDF の高度な機能やセキュリティと、Ridoc Document System の文書管理技術が融合することにより、文書の入力・配信や保管・検索、印刷に至るまでの、一元的かつ操作性・セキュリティ性の高いドキュメントソリューションを提供することが可能となります。これにより当社の高付加価値化した MFP imagioNeo シリーズを更に拡販していきたいと考えています。」と述べています。

アドビシステムズ株式会社代表取締役社長 石井 幹は「アドビはリコーの持つ販売網と強力な販売力を高く評価しています。この協業によりリコー製品と Adobe Acrobat 7.0 の技術面での親和性、機能性を高めるとともに両社の製品の販売を強化できることを期待しています。Adobe Acrobat 7.0 は日本のビジネスにおける多様なワークフローならびに文書管理に対応する高性能なソフトウェアです。リコーのドキュメント管理システムと組み合わせることにより、PDF 文書作成から活用、管理までを安全にまた効率的に行うことが可能になるため、企業ユーザーには最適な製品をご提供できるようになりました」と述べています。

同年1月21日に日本全国で販売を開始した Adobe Acrobat 7.0 Standard 日本語版は、特に Microsoft Office を多用するような一般ビジネスユーザを対象とした製品です。Adobe Acrobat 6.0 より起動時間が大幅に短縮され、PDF の変換時間も最大 80% 短縮されているため、短時間で安全性の高い PDF を作成することができます。また、ヘッダ、フッタ、透かし設定、ドラッグ & ドロップでのファイル添付のほかエンジニア文書向けの新注釈ツール「引き出し線」「寸法線」の追加やものさしツールの機能拡張など数々の新機能が追加されるとともに、機能向上を実現しています。

アドビシステムズ社について

アドビシステムズ社は、効果的で信頼性の高いデジタルコンテンツを制作、管理、配信するためのソフトウェアソリューションを提供しています。アドビシステムズ株式会社はその日本法人です。詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.co.jp/> でご覧いただけます。

株式会社リコーについて

株式会社リコーは、複合機やプリンターを中心とした最先端のデジタル画像機器や効率的なドキュメントフローを実現する文書管理システム、さらにハードとソフトの最適な組み合わせでお客様の業務を革新する総合的なご提案など、先進のオフィスソリューションを提供しています。詳細な情報は、Web サイト <http://www.rico.co.jp/> をご覧いただけます。